

■特長

- ・塗りやすく、トマリの良いツヤ消しエマルジョンペイントです。
- ・塗装方法による色差が非常に小さく、タッチアップ性にすぐれ、ムラなくきれいに仕上がります。
- ・耐候性、耐水性、耐洗浄性などの塗膜性能にすぐれています。
- ・耐アルカリ性が良好で、コンクリート、モルタルなどによく付着します。
- ・防カビ剤入りのため、浴室・台所などの湿度の高い場所に塗装しても、カビが生えにくくなっています。
- ・(一社)日本塗料工業会の目標基準VOC1%以下の低VOC塗料です。

■被塗物素材

- ・コンクリート、モルタル、せっこうボード、ALCなど（素地の種類によって、下地調整が必要になります。）
- ・木部、合板類

■製品要綱

| 種類・色 | 内外部用ホワイト、原色および各色 | | |
|--------------------------------|---|-------|--|
| 主な用途 | 戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築物内外部壁面 台所、浴室の壁面 | | |
| 容量 | 20kg（一部原色を除く）・3L（内外部用ホワイト、原色）・3kg（各色） | | |
| 配合比 | — | | |
| 標準塗付量(kg/m ² ・回) | 0.11~0.13 | | |
| 標準塗付面積(m ² /20kg・回) | 154~182 | | |
| 希釈剤 | 水 | | |
| 希釈割合 (重量%) | ハケ・ローラー | 10~20 | |
| | エアレス | 15~25 | |
| 標準塗装回数 | 2 | | |
| 可使時間 | — | | |
| 指触乾燥時間 | (10℃) 1時間 (23℃) 30分 (30℃) 20分 | | |
| 塗り重ね可能時間 | (10℃) 4時間以上 (23℃) 2時間以上 (30℃) 2時間以上 | | |
| 光沢 | つや消し | | |
| 特化則該当物質 | 該当物質なし | | |
| 有機溶剤表示 | — | | |
| 消防法による危険物区分 | 水性の非危険物 | | |
| 材工価格 (2018年10月現在) | ¥1,050.-/m ² (当該製品のみ・300m ² 以上) | | |

■使用上の注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・新設塗装の場合は素地に適したシーラー・プライマー・フィラー等を下塗りしてください。
- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- ・ヤニの付着が著しく汚れがひどい場合には、中性洗剤を用いてできるだけヤニなどを除去し、十分乾燥させてから塗装してください。
- ・ヤニ、シミが著しく、水拭きなどでも落ちない場合にはロックカチオンシーラーマルチ ホワイトを下塗りに使用してください。
- ・新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- ・吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- ・旧塗膜がつや有り仕上げの場合、条件により塗装に適さない場合がありますので、あらかじめ試し塗りをしてから施工してください。また、弾性系塗膜の塗り替えには使用できません。
- ・木の材質、下地の状況によっては割れ、はがれを生ずることがありますので、事前に試し塗りを実施し、確認してください。
- ・木部については、用途（カウンター、テーブル、椅子、棚、床等）により塗装に適さない場合があります。
- ・ベニヤ板など木製品に塗装する際は、シミなどが浮き出たりする場合がありますので、適切な下地調整を行ってから塗装してください。
- ・ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ・標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・調色には必ず032ライン ビニロック原色または、ロックトーンカララント7000（ベースの10%以内）を使用してください。（ただしロックカララントシステムのウィークホワイトはベースの20%以内、ニュートラルベースはベースの10%以上20%以内。）
- ・塗装仕様がJIS仕様の場合、下塗り塗料もJIS適合品をご使用ください。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

本内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

Copyright © 2018 ROCK PAINT All Rights Reserved.

2018.10